2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
組織培養・免疫系分野	周産期・胎児医学／生殖医療／婦人科腫瘍学特論Ⅰ・Ⅲ	味村 和哉

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2,3,4	必須専攻	特論Ⅰ：4（2/年）， 特論Ⅲ：1/年	

目的

（1）免疫学的手法，分子生物学的手法を習得するために，免疫学，分子生物学を理解する。
（2）臨床領域との病態の関連を検索するために，臨床領域の検査の意義を理解する。
（3）婦人科腫瘍の理解を深めるため，その診断，治療，治療後フォローアップの EBM を理解し，自ら方針決定ができる力を身につける。
（4）婦人科腫瘍に関する研究の方法論を理解し，研究の結果を解釈する。
（5）プレコンセプションケアと葉酸についての理解を身につける。

授業到達目標

（1）産婦人科領域の病態について説明できる。
（2）周産期・生殖・婦人科腫瘍領域における疾患に関して分子生物学的・免疫学的解析を実施できる。
（3）周産期・生殖・婦人科腫瘍領域における疾患と臨床領域の検査との関連に関して解析できる。
（4）提示症例，担当症例における診断，治療法を理解し説明できる。
（5）指導医と共に婦人科がんの診断，治療方針を検討し，カンファレンスで発表できる。
（6）婦人科がんの取り扱い規約，治療ガイドラインを読み，治療の総論，各論を解釈できる。
（7）婦人科がんに関する最新の論文を読み，抄読会にて発表し，理解した内容をまとめてレポートを提出することができる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎週	月・金	8:00-9:00	味村 和哉 太田 啓明	講義	[症例検討会]	産婦人科症例検討会 [場所:12 階西病棟カンファレンス室]
2	毎週	火	16:30-17:00	味村 和哉 坪内 弘明	講義	[症例検討会]	産婦人科学・新生児科学合同カンファレンス [場所:12 階南病棟カンファレンス室]
3	毎週	金	17:00-18:00	味村 和哉 太田 啓明	講義	[症例検討会]	産婦人科・放射線科合同カンファレンス [場所:12 階南病棟カンファレンス室]
4	毎月	第 1・2・3・5 金	18:00-19:00	味村 和哉 太田 啓明	講義	[抄読会]	抄読会 [場所:12 階南病棟カンファレンス室]
5	毎週	木	15:00-16:00	本郷 淳司	講義	[抄読会・症例検討会]	手術予定症例，難治症例などの治療カンファレンス，トピックスの抄読会にて討論する。 [場所:総合医療センター 5 階産婦人科医局]
6	月 1 回	金	18:00-19:00	味村 和哉 太田 啓明	その他	[症例検討会]	病理学的検討が必要な症例の振り返りと画像、病理、臨床所見をあわせた解析を行います。 [場所:12 階南病棟カンファレンス室]

評価方法

【特論Ⅰ】
（1）1年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）1年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
【特論Ⅲ】
（1）1年間※で 15 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）1年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものとは異なる論文（症例）であること。
特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。
※１～３年生は２月末まで，４年生は 11 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

各教員が紹介論文の要約について,評価のうえで添削してフィードバックします。

教科書

ISBN-9781264261376, Williams obstetrics, [edited by] F. Gary Cunningham ... [et al.], McGraw-Hill Education, 2022
ISBN-9781975197100, Berek & Novak's gynecology, [edited by] Jonathan S. Berek ; editorial assistant and design, Deborah L. Berek, Wolters Kluwer, 2023
ISBN-9780071442015, Fetology : Diagnosis and Management of the Fetal Patient（2nd Edition）, Diana W. Bianchi, et al., McGraw-Hill Education/Medical, 2020
ISBN-9780323790932, Clinical gynecologic oncology, [edited by] Philip J. DiSaia ... [et al.], Elsevier, 2023
ISBN-9784815918927, 症例から学ぶ婦人科腫瘍学入門, 井上正樹著, 永井書店, 2011

参考書
ISBN-9784501630300, ワトソン遺伝子の分子生物学 第 7 版, James D. Watson 他（著）, 滋賀陽子 他（訳）, 東京電機大学出版局, 2017 ISBN-9784758122375, 細胞・組織染色の達人 ～ 実験を正しく組む, 行う, 解釈する免疫染色と ISH の鉄板テクニック（実験医学別冊）, 大久保 和央（著）・ 高橋 英機（監修）・ジェノスタッフ株式会社, 羊土社, 2018 ISBN-9784307301480, 子宮頸癌治療ガイドライン, 日本婦人科腫瘍学会編, 金原出版, 2022 ISBN-9784307301558, 子宮体がん治療ガイドライン, 日本婦人科腫瘍学会編, 金原出版, 2023 ISBN-9784307301596, 卵巣がん・卵管癌・腹膜癌治療ガイドライン, 日本婦人科腫瘍学会編, 金原出版, 2025 ISBN-9783030174088, Blaustein's pathology of the female genital tract, Robert J. Kurman, Lora Hedrick Ellenson and Brigitte M. Ronnett (eds.), Springer, 2019
準備学習（予習・復習等）
（1）講義ごとに紹介する文献及び論文を, 次回講義までに読んでおく。さらに関係する文献も調べる。 （2）事前に教科書で約 1 時間程度, 該当箇所を予習しておく。 （3）紹介された論文の要約を作成する。
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
課題を探求し, 仮説立脚, 検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。
注意事項・メッセージ
代表的な基礎的及び臨床的英文論文を読む習慣を身につけてください。 大学院生として, 婦人科腫瘍学の知識と実技の習得, また基礎実験に熱心に取り組んで下さい。